

事務事業評価(事前評価)シート【平成29年度】

主管課(担当名)	介護福祉課高齢者福祉担当	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input type="checkbox"/> 重点プロジェクト
事務事業名	高齢者等緊急通報サービス事業	事業番号	12660

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	1-6	高齢者介護の充実
	施策目標	高齢者が生きがいをもって活躍するまち	

2 事務事業の目的

目的	急病・火災などの非常時に、民間の緊急通報受信センターに直接つながる通報システムを設置し、緊急通報を受信した際には、警備員が利用者宅へ駆け付けることにより、緊急時への体制強化を図る。
成果	緊急時、解錠を行うなどの協力員の確保が出来ないひとり暮らし高齢者に対し、警備会社による駆け付けを行うことにより、孤独感や不安感を解消できる。
実施方法	<input type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input checked="" type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要						
	27							
	28							
	29							緊急通報サービスの提供
	30							緊急通報サービスの提供
	31							緊急通報サービスの提供
事業費と内訳	(単位:千円)		H27	H28	H29	H30	H31	総事業費
	事業費				659	1,105	1,473	3,237
	内訳	国庫支出金						
		道支出金						
		地方債						
		その他			659	1,105	1,473	3,237
		一般財源						
	人員(人工)				0.08	0.08	0.08	
	職員費(人員×7,696千円)				616	616	616	1,848
	総事業費				1,275	1,721	2,089	5,085
維持管理	管理主体							
	運営方法							
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
合計/年								

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (H28)	目標値 (H32)	目標値 (H37)
	緊急通報サービス利用者数	20	30	30

事務事業改善策
(継続事業のみ記入)

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	緊急時、警備員が利用者宅へ駆け付けるとともに、必要に応じ救急車や消防車の出動要請などの迅速な対応が期待できる。
-------------------	---

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<input type="checkbox"/> かなりのニーズがある <input checked="" type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない 超高齢化社会に伴い、一人暮らし高齢者が増加し、緊急時に親族等による駆け付けが出来ない者が増加傾向にある。
イ. 市が実施する必要性	<input type="checkbox"/> 市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 市以外で実施可能である 24時間365日体制でのサービス提供が必要であるため、業務に精通している民間企業による実施が妥当である。
ウ. 事業の緊急性	<input checked="" type="checkbox"/> 緊急性が高い <input type="checkbox"/> 緊急性はある <input type="checkbox"/> 緊急性はない 身近に、親族等による駆け付けが出来ない一人暮らし高齢者が増加傾向にあることから、緊急性が高い。
エ. 手段の適切性	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある ひとり暮らし高齢者を親族や地域で支える体制の確立が必要である。
オ. 事業の公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 公平性は高い <input type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある 一人暮らし高齢者の緊急時に対応する事業であり、公平性は高い。
カ. 事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 本事業の有効性が高い <input type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない 緊急時には迅速な対応が可能であり、孤独死・孤立死の防止が期待できるため、有効性は高い。

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	【計画どおり実施】 事業効果の把握等を行い、計画どおり円滑な事業推進に努められたい。また、活動指標の計画値について記入されたい。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する 一人暮らし高齢者に対する緊急時の迅速な対応により孤独死・孤立死の防止を図りたい。

作成年月